

平成23年度 次世代高信頼・省エネ型IT基盤技術開発・
実証事業（中部地域中小企業利活用基盤整備事業）／
地域中小ITベンダー等におけるサービス供給力強化事業
事業報告書

中部経済産業局

平成24年3月

目 次

第1章 事業の目的と概要

- 1. 事業の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (2) 実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 事業実施結果

- 1. 中小企業におけるクラウドコンピューティングの利活用促進のための調査事業・・・・・・ 3
 - (1) 調査委員の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (2) 調査のとりまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2. ITベンダー向け研修事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 研修の実施結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (2) 研修の総括、成果について・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3. IT経営成功事例等の普及のための事業・・・・・・・・・・・・ 8
 - (1) 情報化セミナー2012の実施・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) 情報化サミット2012の実施・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 4. 中部地域情報化推進協議会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 5. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

(資料集)

- ITベンダー向け研修の個別実施結果・・・・・・・・・・・・・・ 資料-1
- ITベンダー向け研修の募集チラシ・・・・・・・・・・・・・・ 資料-5
- 情報化セミナー及びサミット2012 チラシ・・・・・・・・・・・・ 資料-6
- アンケート用紙(様式一式)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-8
- 新聞記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料-11

- クラウド利活用調査報告書「中小企業のクラウドコンピューティング利活用促進のための地域中小企業・IT企業の実態調査報告書」・・・・・・・・ (別添1)
- クラウド利活用調査の概要版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別添2)
- クラウド利活用先進事例集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別添3)
- ベンダー向け研修のテキスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別添4, 5)
- 情報化セミナー2012 レジメ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別添6)
- 情報化サミット2012 レジメ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (別添7)

第1章 事業の目的と概要

1. 事業の目的

情報サービス分野は、我が国の基幹産業であるだけでなく、製造業・サービス業といった各産業のみならず、電力・交通・水等の社会システムに至るまで広く活用されている。また、我が国の情報サービス産業は、技術的な観点から見ても高信頼・高品質のシステム制御技術等を有し、高度社会システムの根幹やイノベーションを支えている。

現在、情報技術分野はクラウドコンピューティングを利活用した大容量情報の蓄積・分析等による新たな価値を提供するサービス等が急速に普及してきており、今後も次世代情報処理基盤としてクラウドコンピューティングを利活用したビジネス向けのサービス等がさらに普及していくものと予測される。

一方で、急速に進展するクラウドコンピューティングによる情報技術環境への変化は、情報サービス産業の構造変化をもたらすものと推測され、特にこれまで大手ITベンダーからの受託開発を主流としてきた中小ITベンダーにおいては、今後、クラウドサービス等に対応したビジネスモデルへの転換等が必要となっていくことが『情報経済革新戦略（平成22年5月経済産業省産業構造審議会情報経済分科会）』においても指摘されているところである。

また、我が国経済の大層を占める中小企業においては、グローバル化する経済の中で競争力強化、生産性向上は喫緊の課題であり、その課題解決のためにITを利活用することは必要不可欠であるが、大企業に比べ情報技術の知識や活用能力、人材、IT投資額等において不十分な状態にある。

このため、本事業では、中部地域において、経済性かつ利便性の高いクラウドコンピューティングの利活用を軸に、地域中小企業におけるIT化の課題やニーズの調査、IT経営成功事例の収集及びその普及・啓発、地域中小ITベンダー向け研修等の実施により、中小企業のIT利活用を促進するための環境整備や地域中小ITベンダーのIT供給力強化を支援し、中小企業の競争力強化や生産性向上を図ることを目的とした。

2. 事業の概要

(1) 実施内容

地域中小ITベンダー等が、クラウドコンピューティングサービスを提供するために必要な技術力や企画力等の供給力向上を図り、もって地域中小企業のIT化を促進するため、以下の事業を実施した。

① 中小企業におけるクラウドコンピューティングの利活用促進のための調査事業

中小企業におけるクラウドコンピューティングの利活用促進を目的に、地域中小企業における経営課題やIT経営実践の実態の把握、IT化ニーズの発掘等に必要な調査を行なった。また、地域におけるクラウドコンピューティングの利活用に関するポテンシャルを把握するため、地域中小ITベンダー等によるクラウドコンピューティングへの取り組みの事例や中小企業がクラウドコンピューティングの利活用により経営の高度化や合理化を実現した事例等の収集も調査項目とした。

調査の実施にあたっては、中小企業（ユーザー企業）、地域中小ITベンダー、中小企業支援機関、有識者等からなる「クラウド利活用調査委員会」を設置して、調査内容の企画や調査結果の検討を行い、報告書として取りまとめた。

② ITベンダー向け研修

地域の中小ITベンダー等を対象に、中小企業のクラウドコンピューティング利活用を支援する

ために必要な技術力や企画力向上を目的とした研修（半日コース研修）を、中部管内5県において10回実施した。

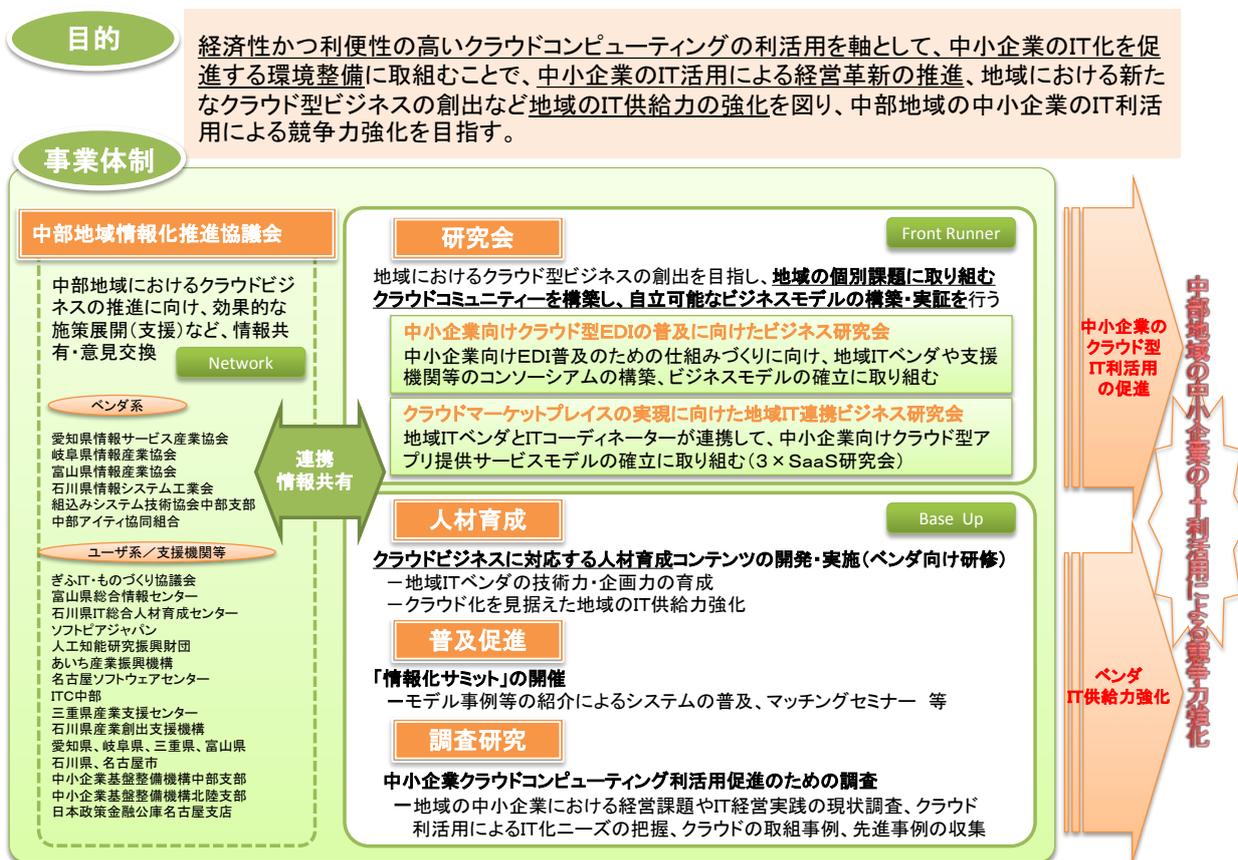
③ IT経営成功事例等の普及のための事業

地域のIT供給力強化を目的に、クラウドコンピューティングの最新技術等の情報提供や、上記①で収集した事例等を地域に向けて広く普及し中小企業のIT化を促進するためのセミナーを、東海地域では「情報化サミット2012」として北陸地域では「情報化セミナー2012」として各1回開催した。

④ 中部地域情報化推進協議会の開催

当事業を効果的に推進するために、中部管内のIT関係機関、中小企業支援機関や行政機関等の意見交換・情報共有の場として、「中部地域情報化推進協議会」を設置し、会議を名古屋市内にて2回開催した。

【事業の概要】



(2) 実施期間

平成23年7月20日 ～ 平成24年3月30日

第2章 事業実施結果

1. 中小企業におけるクラウドコンピューティングの利活用促進のための調査事業

(1) 「クラウド利活用調査委員会」の開催状況

■委員名簿

委員長	
岸田 賢次	名古屋学院大学大学院・商学部 教授
委員	
兼子 邦彦	こじま事業協同組合連合会 情報化推進プロジェクト室長
諏訪 達哉	中部アイティ協同組合 理事 有限会社テックブレインズ 取締役社長
高寺 政守	富山県情報産業協会 専務理事 北電情報システムサービス株式会社 マネージメント部 調査役
日沖 純一	財団法人あいち産業支援機構 情報・国際ビジネス部 情報推進グループ 専門員
越田 幸一	財団法人石川県産業創出支援機構 ITアドバイザー
オブザーバー	
杉山 益美	中部経済産業局 地域経済部 情報政策課長

■委員会開催状況

<第1回>

日 時：平成23年8月9日（火）14:00～17:00

場 所：名駅菱信ビル 4階 410会議室

- 検討事項：1. 調査委員会 委員長の選出
2. クラウド利活用調査の目的、概要について
 3. クラウド利活用調査の実施について
 - (1) クラウド利活用調査の実施要領（案）
 - (2) 「クラウド利活用調査」調査ヒアリングシート（案）
 - (3) 先進事例の発掘について
 - (4) 調査報告書の骨子
 4. 今後のスケジュール

<第2回>

日 時：平成23年10月14日（金）13:30～15:30

場 所：三喜ビル SNK4階 会議室

- 検討事項：1. クラウド利活用調査の中間報告について
- (1) クラウド利活用調査の実施（IT企業）
 - (2) クラウド利活用調査の実施（ITベンダー）
 - (3) 先進事例の発掘
2. 調査報告書の骨子(事務局案)について
 3. 今後のスケジュール

<第3回>

日 時：平成23年12月19日（月）13:30～16:30

場 所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち） 1007会議室

検討事項：1. クラウド利活用調査報告書（中間報告）について

（1）クラウド利活用調査報告（IT企業編）

（2）クラウド利活用調査報告（ITベンダ編）

（3）先進事例の発掘および小冊子作成

2. 情報化セミナー（金沢）と情報化サミット（名古屋）開催について

3. ITベンダー研修について

4. 今後のスケジュール

<第4回>

日 時：平成24年1月23日（月）13:30～16:30

場 所：名古屋ダイヤビル1号館 2階 121会議室

検討事項：1. クラウド利活用調査報告書（最終報告）について

（1）クラウド利活用調査報告書

（2）クラウド利活用調査概要報告書

（3）先進事例の発掘および小冊子作成

2. 今後のスケジュール

(2) 調査のとりまとめ

ヒアリング調査の企業数は、49社（ユーザー企業35社、ベンダ企業14社）に対して実施し、上記の委員会の検討を経て、調査結果を以下の報告書にとりまとめた。

調査報告書（別添1）

調査報告書の概要版（別添2）

クラウドによるIT利活用発掘事例集（別添3）

2. ITベンダー向け研修事業

(1) 研修の実施結果

地域のITベンダーを対象に、中小企業のクラウドコンピューティング利活用を支援するために必要な技術力や企画力向上を図るために、以下の内容で研修を実施した。開催にあたっては、開催場所の提供や参加者への広報のため、各県の支援機関と連携して実施した。また、クラウドサービスには、ITコーディネータの役割が重要となっていることから、ITコーディネータ協会の後援を受け、ITベンダー企業内のITコーディネータの参加を促した。

研修名：クラウドコンピューティング導入における企画提案・営業力強化セミナー

実施回数：10回（愛知県3回、岐阜県2回、三重県1回、石川県2回、富山県2回）

募集定員：205名（各会場 20名、岐阜市会場15名、名古屋会場追加開催30名）

受講者：185名

研修カリキュラム

<第1部>13:30～14:50

・オリエンテーション

・講義1：中小ITベンダが今後のクラウドビジネス等に対応したサービス供給力を強化するために

テキスト：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課作成（別添４）

講師：伊藤 実 氏

（伊藤経営事務所 代表、ITコーディネータ、中小企業診断士、特種情報処理技術者）

<第２部> 15:00～17:30

- ・講義２：ユーザー企業のIT経営を理解、支援する
- ・講義３：RFP（提案依頼書）による受注を獲得するには
- ・講義４：<事例>ユーザー企業は何故このITベンダーを選定したのか

テキスト：講師 横屋 俊一 氏作成のオリジナルテキスト（別添５）

講師：横屋 俊一 氏

（株式会社ナレッジ21代表取締役、ITコーディネータ、特種情報処理技術者、
第一種情報処理技術者）

■「ITベンダー向けクラウドコンピューティング導入における企画提案・営業力強化セミナー」研修実施一覧

開催場所	開催日	時間	会場	募集人員	申込人員	受講人員	支援機関との連携
岐阜県 岐阜市	1月17日(火)	14:00～ 16:00	岐阜市 ハートフルスクエアG 研修室	15	15	15	平成23年度岐阜市集積IT企業 育成支援事業(岐阜市IT企業交 流会)にて開催
石川県 金沢市	1月19日(木)	13:30～ 17:30	(株)石川県IT総合人材育成 センター 研修室	20	16	12	(株)石川県IT総合人材育成 センター (財)石川県産業創出支援機構 (社)石川県情報システム工業会
富山県 富山市	1月20日(金)	13:30～ 17:30	(株)富山県総合情報センター 研修室	20	9	8	(株)富山県総合情報センター (社)富山県情報産業協会
富山県 富山市	1月26日(木)	13:30～ 17:30	(株)富山県総合情報センター 研修室	20	15	13	(株)富山県総合情報センター 富山県情報産業センター
石川県 金沢市	1月27日(金)	13:30～ 17:30	(株)石川県IT総合人材育成 センター 研修室	20	23	18	(株)石川県IT総合人材育成 センター (財)石川県産業創出支援機構 (社)石川県情報システム工業会
愛知県 名古屋市	2月2日(木)	13:30～ 17:30	(株)名古屋ソフトウェアセンター セミナー室	20	50	29	
愛知県 名古屋市	2月3日(金)	13:30～ 17:30	(株)名古屋ソフトウェアセンター セミナー室	20	47	25	
岐阜県 大垣市	2月15日(水)	13:30～ 17:30	(財)ソフトピアジャパン ドリーム・コア マルチメディア研修室	20	27	24	(財)ソフトピアジャパン
三重県 四日市市	2月16日(木)	13:30～ 17:30	(財)三重県産業支援センター 高度部材イノベーション センター 中会議室	20	29	23	(財)三重県産業支援センター
愛知県 名古屋市	3月9日(金)	13:30～ 17:30	(株)名古屋ソフトウェアセンター セミナー室	30	37	18	
合 計				205	268	185	

表2-1. ITベンダー向け研修

■受講者のアンケート結果について

研修受講者に対してアンケートを実施し、研修内容の満足度、講義内容、今後の研修成果の活用等について以下のとおりまとめた。

○研修の満足度について

研修の満足度は図2-1のとおりであった。

第一部、第二部ともに全体的に満足度は非常に高く、第一部では「大変役にたった」と「役に立った」で68%、第二部では「大変役にたった」と「役に立った」83%と高い割合を占めた。

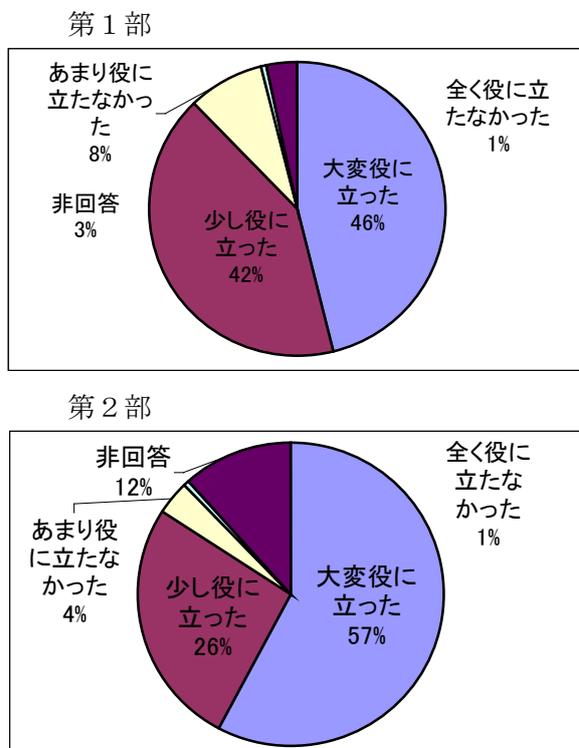


図2-1

○研修の講義内容について

研修の講義については、図2-2のとおりであった。

第一部、第二部ともに講義内容が判り易かったという回答の割合が高く、第一部では「判り易かった」が77%、第二部では92%と高い割合であった。

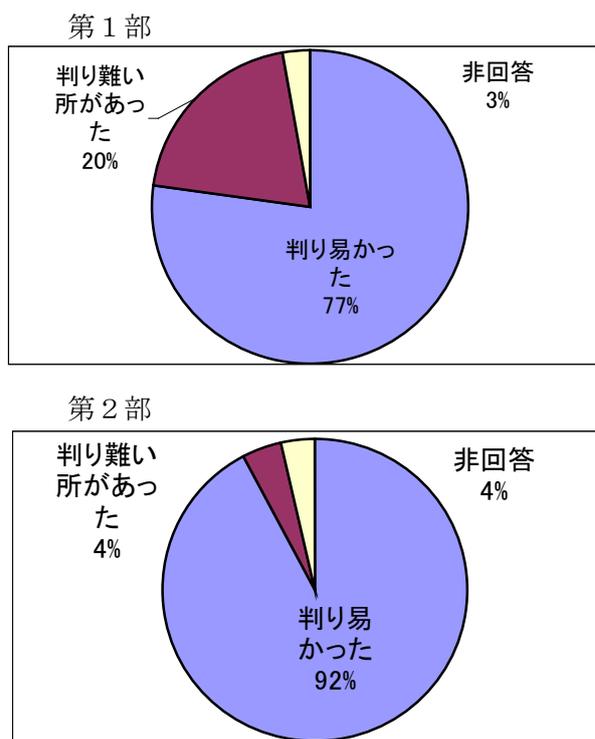


図2-2

○今後の研修成果の活用について

研修受講者に「今後の研修成果の活用について」について聞いたところ、図2-3のとおりだった。

研修後に「研修成果を活用する」との回答が88%であった。

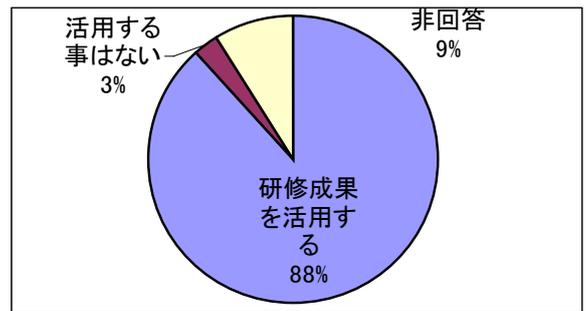


図2-3

(2) ITベンダー向け研修の総括・成果について

上記のアンケート結果から、本研修については、概ね良い評価を得ることができた。アンケートに記載された個別コメントでも「クラウドの事例が多く、今後の参考にさせていただきます」、「クラウドの実例を理解でき、またユーザーの方へのアプローチの仕方を学べたので、今後の活動に活かしていきたい」、「クラウド時代のIT利活用プロセスイメージ及び、クラウドビジネスに必要な能力が大変参考になりました」、「今回のプレゼンの資料の作り方の講義は、経営層に対する説明資料にも参考になったと思います」、「プレゼンの場合も誰に対してのプレゼンかによって、書く内容も違って来る為、今後、その辺りも踏まえて仕事に繋げていければと思います」などの意見が多くあった。

この研修成果を活かして、各地域ITベンダー企業においてクラウドサービスに関する具体的な取り組みを開始し、地域企業向けのクラウドサービスを充実するとか、地域企業向けのIT導入提案において、クラウドコンピューティング利活用による効果的なIT導入の提案に繋げていくなど、地域のクラウドサービスの供給力強化が推進されることを期待したい。

■セミナー風景



3. IT経営成功事例等の普及のための事業

(1) 情報化セミナー2012の実施

近年、急速に普及しているクラウドコンピューティングを、地域の中小企業においても利活用して産業競争力の強化や生産性向上を図っていくことが重要課題であることから、中部地域の企業のクラウド利活用の促進と、地域のITベンダーのクラウド型サービス提供の取り組み促進することを目的に開催した。

実施内容はクラウドコンピューティングを取り巻くビジネスの最新動向に関する講演や、クラウドコンピューティングを活用したIT経営実践事例の発表、地域ベンダーに求められるクラウドサービスの提供などに関するパネルディスカッションを実施した。

参加者は、IT利活用に関心がある中小企業、クラウドビジネスに関心があるIT企業、ITコーディネータ、中小企業支援機関等、91名の参加があった。

■情報セミナー2012概要

テーマ名：情報化セミナー2012 ～クラウドコンピューティングで広がる企業のビジネス展開～	
日 時	平成23年2月10日（金）13：30～17：30
場 所	(財)石川県地場産業振興センター新館 第12研修室
参加者	91名
内 容	<p>13:30～13:40 開会挨拶 経済産業省中部経済産業局 情報政策課長 杉山 益美</p> <p>13:40～14:40 基調講演 『クラウドを取り巻くビジネスの最新動向と課題』 ～強みを活かした新事業創出と3.11以降の企業ITの現在～ ニフティ株式会社クラウド事業部 クラウド営業部 久保田 朋秀 氏</p> <p>14:40～15:20 特別講演 『クラウド時代に向けたITコーディネータの役割』 特定非営利活動法人ITコーディネータ協会会長 播磨 崇 氏</p> <p>15:25～16:50 事例発表 ◆平成23年度事業報告「中部地域の中小企業クラウド利活用調査」について 経済産業省中部経済産業局 情報政策課長補佐 山田 昌子 ◆『クラウドを活用したIT経営事例』 ・愛知運送株式会社 企画室 室長 玉木 育男 氏 ・会宝産業株式会社 取締役総務部長、システム業務室長 桜井 茂宏 氏 ◆ITベンダが提供したクラウド活用事例 ・AWS株式会社 専務取締役 中山 孝則 氏</p> <p>16:50～17:25 パネルディスカッション モデレーター ITコーディネータ協会会長 播磨 崇 氏 パネラー ニフティ株式会社 久保田 朋秀 氏 愛知運送株式会社 企画室長 玉木 育男 氏 会宝産業株式会社 取締役総務部長 桜井 茂宏 氏 AWS株式会社 専務取締役 中山 孝則 氏</p> <p>17:25～17:30 質疑応答</p>

■基調講演概要

『クラウドを取り巻くビジネスの最新動向と課題 ～強みを活かした新事業創出と 3.11 以降の企業 I T の現在～』

講師：ニフティ株式会社クラウド事業部 クラウド営業部 久保田 朋秀 氏

クラウドサービスとして提供されているビジネスモデルの特徴は、初期投資が少なく、短期間で I T が利用できることであり、これまでの I T システム所有からサービスとして利用する形態に大きく変わった。クラウドサービスは、昨年 3 月の東日本大震災から、BCP の視点でも利用する企業が増加し、この 1 年で普及のスピードが加速した。こうしたクラウド時代に要求される I T ベンダー側のビジネススキルは、これまでの S E / S I e r に代わり①Service Intermediation (複数ベンダーのクラウドサービスを仲介する) ②Service Aggregation (ユーザーの望む機能を、複数のクラウドサービスを結合・統合して提供する) ③Service Arbitrage (ユーザーの選択した複数のサービスを統合して提供する) といった能力となる。大手のベンダー企業ではクラウドへの対応が進んでいる。また、クラウドの導入事例の紹介により、クラウドのメリットを活かした活用が効果的で、かつコストメリットもある。現状では、クラウドの活用は大手企業中心であるが、今後は中小企業においてもクラウド活用によりさらに効果的な I T 活用が促進される。地域の I T ベンダーも早期にクラウドサービスへの対応を行う必要がある。クラウドの普及により、サービス形態が大きく変革する中、中小企業、I T ベンダー企業の、I T コーディネータにとって、クラウドサービス活用に関して理解を深めることができる充実したセミナーであった。

■特別講演概要

『クラウド時代に向けた I T コーディネータの役割』

講師：特定非営利活動法人 I T コーディネータ協会会長 播磨 崇 氏

クラウドサービスの市場予測は大幅に増加すると予測されている。一方、中堅・中小企業の I T 導入状況をみると、I T 活用している企業は業績にも反映しており、クラウド活用への期待もある。クラウドの普及により企業の I T 導入・活用の形態が変化している。こうした中、I T コーディネータ協会も時代の変化に対応した活動に見直しているところである。中小企業のクラウドの導入事例を紹介し、クラウドのメリットや導入における課題などを示唆し、これからの I T コーディネータに役割として、①経営者との接点の拡大、②経営課題を把握し、的確に提案する、③経営者とともに成功体験を作ることが重要である。I T コーディネータとしても、クラウドに対する理解を深め、中小企業の経営課題の解決のための効果的な I T 利活用を推進することが期待されていることを理解する充実したセミナーであった。

■パネルディスカッション概要

「中小企業のクラウド利活用促進に向けて」と題して、クラウドを既に導入している企業であるユーザー側のパネラー及びクラウドサービスを提供する側のパネラーから、地域企業がクラウド活用へ期待することや、現状の課題について議論を進めた。クラウド活用への期待としては、最新機能の活用、開発期間の短縮が最も大きく、こういったクラウドの特徴を活かした分野で導入したことが成功の要因である。地域の中小企業でもクラウドの活用を促進するためには、ユーザー側のクラウドに関する理解促進とともに、供給側のベンダーのサービス提供も重要である。また、両者の仲介をする I T コーディネータの役割も重要であるので、それぞれの立場でクラウド活用による地域情報化を推進していくことが求められている。

■情報化セミナー アンケート結果

アンケート結果として、全体としての評価は、約 85% の参加者が「大変よい」又は「よい」と

評価している。(図 2-4)

参加者のうちで実施して欲しい事業は、セミナー・研修会を望む方が約44%、マッチングを望む方が約17%、情報提供を望む方が約25%となった。情報化セミナー2012に参加するITベンダーはセミナー・研修会を必要としていることがわかる。(図 2-5)

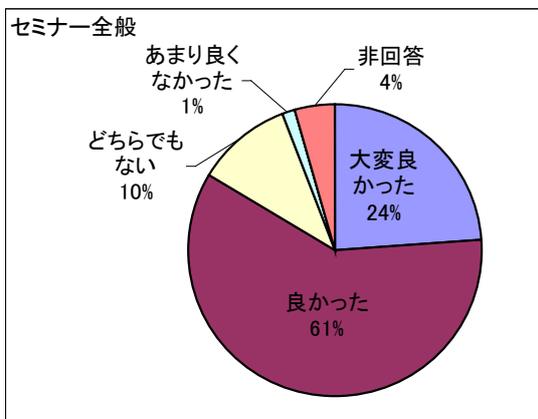


図 2-4

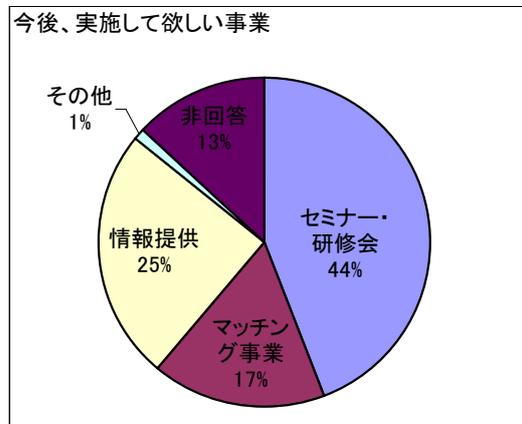


図 2-5

■セミナー風景



(2) 情報化サミット2012の実施

近年、急速に普及しているクラウドコンピューティングを、地域の中小企業においても利活用して産業競争力の強化や生産性向上を図っていくことが重要課題であることから、中部地域の企業のクラウド利活用の促進と、地域のITベンダーのクラウド型サービス提供の取り組み促進することを目的に開催した。

実施内容はクラウドコンピューティングを取り巻くビジネスの最新動向に関する講演や、クラウドコンピューティングを活用したIT経営実践事例の発表、地域ベンダーに求められるクラウドサービスの実証事業の発表、地域中小企業のクラウド利活用促進に向けてのパネルディスカッションを実施した。

参加者は、IT利活用に関心がある中小企業、クラウドビジネスに関心があるIT企業、ITコーディネータ、中小企業支援機関等、159名の参加があった。

■情報サミット概要

テーマ名:情報化サミット2012 ～クラウドコンピューティングで広がる企業のビジネス展開～	
日時	平成23年2月29日(水) 13:30～17:30
場所	「ウインクあいち」愛知県産業労働センター 小ホール
参加者	159名
内容	<p>13:30～13:40 開会挨拶 経済産業省中部経済産業局 地域経済部長 岡田 武</p> <p>13:40～14:40 基調講演 『クラウドが破壊するもの、生み出すもの』 サイボウズ株式会社 代表取締役 青野 慶久 氏</p> <p>14:40～15:00 平成23年度事業報告「中部地域の中小企業クラウド利活用調査」について 経済産業省中部経済産業局 情報政策課長 杉山 益美</p> <p>15:10～15:50 事例発表 クラウドを利用したIT経営事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライベートクラウド「Dスルーランド」～企業間連携で新ビジネスモデル構築!～ 大津鉄工株式会社 代表取締役社長 大津 尚彦 氏 ・プライベートクラウド「GREEN EDI」 ～使いやすい共通EDIを提供し、日本のITの底上げに貢献したい～ 真和工業株式会社 物流部 次長 野村 幸男 氏 <p>15:50～17:25 パネルディスカッション「地域中小企業のクラウド利活用促進に向けて」</p> <p>モデレーター 武蔵大学 経済学部 教授 松島 桂樹 氏</p> <p>パネラー 岐阜IT協同組合 副理事長 森本 隆成 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラウド普及に向けたITコーディネータとITベンダーの新協業体制の取組み」 株式会社グローバルワイズ 代表取締役社長 伊原 栄一 氏 ・「中小企業向けクラウド型EDIの普及に向けたサービスモデル構築」 大津鉄工株式会社 代表取締役社長 大津 尚彦 氏 真和工業株式会社 物流部 次長 野村 幸男 氏 <p>17:25～17:30 質疑応答</p>

■基調講演概要

『クラウドが破壊するもの、生み出すもの』

講師：サイボウズ株式会社 代表取締役 青野 慶久 氏

クラウドの普及は、IT業界にとって数十年に一度の大きな変革である。そういった変化はクラウドに限らず広告業界や音楽業界などのいろいろな業界にも変革をもたらすものであり、現在はビジネスのあり方の変革期を迎えている。クラウドがもたらす革命はシステムの変化にとどまらず、企業のIT導入の流れも大きく変え、企業から求められるのは「ファスト」である。つまり、現場で直ぐに使える「ファストシステム」が求められるのであり、当社はそういった製品開発に注力し、ビジネスを展開している。当社の製品「kintone」を例に、企業のIT活用が簡単に、短期間で、かつ低コストで実現できる状況が来ていること、IT業界に今後起こると予想される変化、さらに変化の時代には先進的な取り組みがビジネスチャンスにつながることなど、示唆にとんだ内容で、ITベンダーをはじめ、ITを利用するユーザー企業にとっても、クラウドサービスに関して理解を深めることができる充実したセミナーとなった。

■パネルディスカッション概要

ITベンダーのパネラーから、今年度実施したクラウドサービス提供の実証事業の報告をし、その後ITユーザー側パネラーも含めて「地域中小企業のクラウド利活用促進に向けて」と題して、地域中小企業の課題に的確に対応するIT導入やサポートなどの個別のテーマで議論を進めた。

ベンダー企業の協業体制によりデータ連携可能なEDI提供サービスを行う研究会活動の紹介を通じて、自動車部品業界や電気部品業界などの異なる業界の複数のEDIを利用している中小企業にとって障壁となっている多画面・多システム問題は、個社の取り組みでは解決できないため、こうした課題の解決には、クラウドと共通EDIを活用しながらユーザー企業やベンダー企業の連携により、異なるEDI間のデータ連携、EDIと社内業務システム（生産・会計など）とのデータ連携を実現する取り組みが重要であるということが議論された。また、ベンダー企業とITコーディネータの連携により中小企業向けのクラウドサービスに取り組む研究会活動の紹介を通じて、地域の中小企業が使いやすいクラウドサービスには、顔の見えるサポートが必要であり、地域ITベンダー間連携やITコーディネータとの連携促進などの取り組みの強化が重要であるということが議論された。クラウドの活用により、新たなビジネスモデルの構築をしたユーザー企業からも、中小企業ではITに関する情報の不足しがちであるので、ITベンダーによるクラウドサービスの強化やITコーディネータのサポートへの期待が寄せられ、地域のクラウド利活用促進には、ITユーザー、ベンダー企業、ITコーディネータの3者の連携した取り組みの重要性を共有化した。

■情報化サミット アンケート結果

アンケート結果として、全体としての評価は、約91%の参加者が「大変よい」又は「よい」と評価している。（図2-6）

参加者のうちで実施して欲しい事業は、セミナー・研修会を望む方が約48%、マッチングを望む方が約17%、情報提供を望む方が約27%となった。情報化サミット2012に参加するITベンダーはセミナー・研修会を必要としていることがわかる。（図2-7）

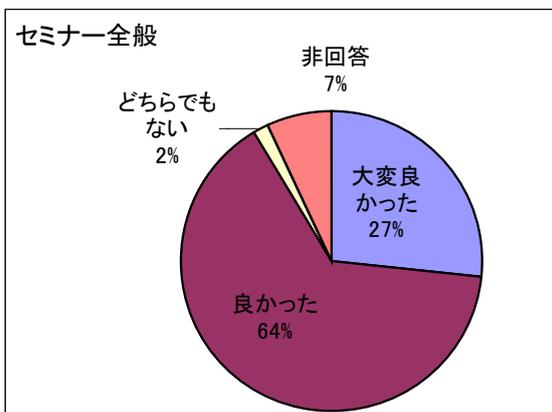


図 2-6

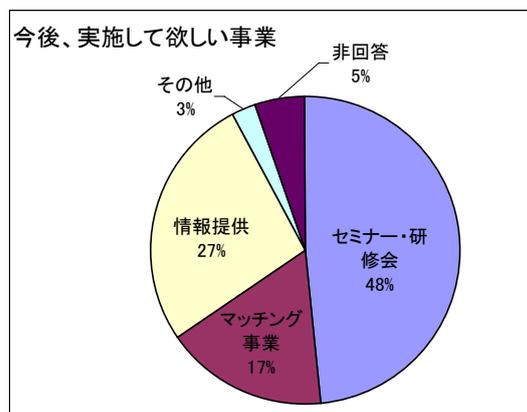


図 2-7

■サミット風景



4. 中部地域情報化推進協議会の開催

上記1～3の事業を中部地域として連携して推進するため、IT関係機関や中小企業支援機関、行政機関等を構成員とする中部地域情報化推進協議会を開催した。

協議会のメンバーは、ITベンダーの立場から、愛知県情報サービス産業協会、岐阜県情報産業協会、富山県情報産業協会、石川県情報システム工業会、組込みシステム技術協会中部支部、ITユーザー側との繋がりに実績のある支援機関(従来支援策「IT経営応援隊」の支援機関)として、名古屋ソフトウェアセンター、ソフトピアジャパン、三重県産業支援センター、富山県総合情報センター、石川県IT総合人材育成センター、ITC中部、地域ITベンダーとITユーザーの連携を実践している立場から、ぎふIT・ものづくり協議会、人工知能研究振興財団、地域の情報化を支援する立場から、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、名古屋市、中小企業基盤整備機構中部支部、同北陸支部、日本政策金融公庫名古屋支店で構成した。

なお、本協議会のメンバーは中部経済産業局と協議し、平成23年度までの中部地域イノベーションパートナーシップ推進会議メンバーを継承した。

協議会委員は以下のとおり。

※「中部地域情報化推進協議会」の委員名簿 (順不同)

- (社)富山県情報産業協会 会長 高松 正
- (社)石川県情報システム工業会 会長 饗庭 達也
- (社)岐阜県情報産業協会 会長 宮地 正直
- (社)愛知県情報サービス産業協会 会長 竹田 喜彦
- (社)組込みシステム技術協会 中部支部長 水谷 多嘉士
- 中部アイティ協同組合 代表理事 鈴木 裕紀
- (株)富山県総合情報センター 代表取締役常務 本江 定次
- (株)石川県IT総合人材育成センター 専務取締役 中村 外男
- (財)ソフトピアジャパン 副理事長 清生 勲
- (財)人工知能研究振興財団 専務理事 小島 召征
- (財)あいち産業振興機構 情報・国際ビジネス部長 伊藤 憲保
- (株)名古屋ソフトウェアセンター 代表取締役専務 高嶋 雅樹
- (NPO)ITC中部 副理事長 水口 和美
- (財)三重県産業支援センター 常務理事兼事務局長 片山 良夫
- (財)石川県産業創出支援機構 専務理事 横川 隆之
- ぎふIT・ものづくり協議会 会長 辻 正
- 富山県 商工労働部 商工企画課 課長 大坪 昭一
- 石川県 商工労働部 産業政策課 課長 荒木 太郎
- 岐阜県 産業労働部 情報産業課 課長 中島 守
- 愛知県 産業労働部 新産業課 課長 森田 茂
- 三重県 農水商工部 商工振興室 室長 田中幹也
- 名古屋市 市民経済局産業部 産業経済課 課長 下山 浩司
- (独)中小企業基盤整備機構 中部支部 経営支援部長 元木 茂
- (独)中小企業基盤整備機構 北陸支部 経営支援部長 金井 一弘
- (株)日本政策金融公庫 名古屋支店 中小企業事業副事業統轄 川名 睦治

◆第1回中部地域情報化推進協議会

日 時	平成22年8月25日(木) 14:00~16:00
場 所	名古屋ダイヤビル2号館 7階 272会議室
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成23年度次世代高信頼・省エネ型IT基盤技術開発・実証事業(中部地域中小企業利活用基盤整備事業)について 2. 地域中小ITベンダ等におけるサービス供給力強化事業の実施計画について 3. 地域IT連携体モデル構築事業について <ol style="list-style-type: none"> ①中小企業向けクラウド型EDIの普及に向けた自立型ビジネスモデル研究会(株)グローバルワイズ ②クラウドマーケットプレイスを活用した地域IT連携ビジネスに関する研究 岐阜IT協同組合 4. 中部地域のIT関連施策の情報提供 5. 意見交換

◆第2回中部地域情報化推進協議会

日 時	平成23年3月16日(金) 13:30~16:00
場 所	名古屋ダイヤビル2号館 3階 231会議室
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成23年度次世代高信頼・省エネ型IT基盤技術開発・実証事業(中部地域中小企業利活用基盤整備事業)の実施報告 <ol style="list-style-type: none"> ①概要報告 (株)名古屋ソフトウェアセンター ②地域中小企業・IT企業の実態調査の報告 中部経済産業局地域経済部情報政策課 ③個別研究会の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けクラウド型EDIの普及に向けたビジネスモデル研究会(株)グローバルワイズ ・クラウドマーケットプレイスを活用した地域IT連携ビジネス研究会 岐阜IT協同組合 2. 平成24年度の中部地域における情報政策について 3. 意見交換 4. 講演「クラウド最前線と先進的な取組事例」 講師：富士通株式会社 サービスビジネス本部 阪井 洋之 氏

5. まとめ

本事業の結果、地域の中小ITベンダーに対して、クラウドサービスに関する現状や、今後のクラウドサービスへの対応に際して参考となるような情報を提供することができ、一定の成果を得ることができた。今後も、本事業でまとめた「中小企業におけるクラウドコンピューティングの利活用促進のための調査報告書」などを活用して、地域のITベンダーのクラウドサービスの供給力強化に向けた取り組みの促進を期待したい。

中小企業におけるクラウドコンピューティングの利活用促進のための調査事業では、地域の中小企業のクラウドコンピューティングに対するニーズや、地域のITベンダーのクラウドに関する取り組みの現状や課題を踏まえて、今後の取り組みの方向性をとりまとめたほか、クラウドを導入し経営合理化を実現しているユーザー企業の事例集をとりまとめた。とりまとめた報告書については、

本事業のセミナーを通じて情報提供したところ、既に、事例集などを利用したいとの問い合わせもあった。

I Tベンダー向け研修事業では、クラウドサービスに必要なI Tベンダーの提案力を向上するためのカリキュラムを策定し研修会を実施したところ、定員を上回る申込みがあるなど、I Tベンダーの関心は非常に高く、研修実施後のアンケートでも参考となったという回答が多かった。この研修を機に、I T企業におけるクラウドサービスの充実など具体的な取り組みに繋がることを期待したい。

最後に、地域の中小企業のI T利活用の促進、とりわけクラウドコンピューティングの利活用には、クラウドに関する最新情報を得るとか、実際に機能を使ってみてクラウドサービスを深く知るなどのクラウドへの理解促進と、企業の壁を越えた業界やグループによるクラウド利活用が効果的であり、I T企業の団体や各業界団体、中小企業支援機関などのコミュニティによる研究会や勉強会など、地域の様々な取り組み促進を期待したい。

以 上